

上田

UEDA

信
州

松本

MATSUMOTO

大河ドラマ「真田丸」の舞台



アルプスに抱かれる城下町

国宝
松本城

重文
旧開智学校

日本浮世絵博物館

文禄（1593～）時代に建てられた五重六階の大天守を中心には、連結複合式と呼ばれる独特の構成をもつた五棟の櫓が連なる天守は、四百有余年の風雪に耐え、戦国時代の優れた築城技術を今に伝えます。日本アルプスまでをも借景にした姿が、絶妙の調和を生み出しています。「先人の知恵」を、ぜひ登ってお確かめください。



明治9年に建てられた擬洋風建築の小学校。国内で残る最も古い小学校の一つ。色ガラス、風見鶏のついた八角塔など端々に文明開化の息吹を感じられます。明治初めからの教育資料を展示しています。



鹿教湯温泉



文殊菩薩の導きにより、泉で矢傷を癒す鹿を獵師が発見したことから、鹿が教えた湯として伝えられる温泉。神経痛・リウマチ等体の疲れを癒す湯治場として江戸時代から多くの人が訪れています。環境省指定国民保養温泉地です。

天正11年（1583）真田昌幸により築城された。昌幸・信繁（幸村）親子が二度に渡つて徳川軍を退け、江戸時代も城下町上田の中心であつたこの名城は、現在は公園として市民の憩いの場となっています。春には本丸跡やお堀端に植えられた約千本の桜が古城に彩を添え、花見の宴に訪れる多くの客で賑わいを見せます。

◆上田駅から徒歩12分。
真田昌幸の具足など歴代城主の甲冑、武具の他、この地に伝わる養蚕資料や美術工芸品、古文書類など約4万5千点を収蔵・展示。

上田市立博物館



松本出身の紙の諸式問屋・酒井家五代が、二百年にわたり収集してきた日本を代表する浮世絵の殿堂。約10万点に及ぶ酒井コレクションには、肉筆、版本を含め浮世絵の初期から現代版画までが網羅されています。